

令和7年3月5日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名 : 指定通所介護事業所 陽だまり
施設種類 : 地域密着型通所介護
開催日時 : 令和7年2月28日(金) 17時00分~18時00分
開催場所 : 指定通所介護事業所 陽だまり
出席者 :
(人数)

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他(管理者、施設職員)			3人

【活動状況】

○直近2か月(12月・1月)の利用状況について報告。

年末年始は休業したため、営業日数が少なかった。

週に複数回利用されている方の入院や、利用中止が重なり利用者が減少した。
ブログや Facebook などを利用して活動を紹介しているが、利用者の増加にはつながらない。

○3月4日で開設25周年を迎える。

施設も老朽化し、事業の継続が今後の課題。開設当時から職員は変わっておらず後継者がいない。

○利用者さんがインフルエンザに感染し、しばらく欠席された。その後感染の拡大はなし。

(知見を有する者) インフルエンザの流行は見られるが、介護施設のボランティアの受け入れが再開した。

施設入居者の方が、感染して出かけられなくなるのが心配だと話していた。この方は喫茶店まで歩いてコーヒーを飲みに行くのが楽しみだそう。

私の亡くなった夫は、デイサービスに置いてある玉の出ないパチンコ台を楽しんでいた。

(地域住民の代表) 麻雀や囲碁などをする所もある。

(行政) 閉じこもると話す機会がなくなる。出かけて好きなことをしたり、人と話をすることは大切。

○年末に利用者さんと年賀状を書いた。ご家族やケアマネージャーなどに宛てて書かれ、受け取られた方にも喜ばれた。

(地域住民の代表) 以前、母が利用していた時に書いた文字などは大切に取っている。今は書くことができなくなったのでありがたい。小規模だからこそできる援助がある。

○6月にキヌヤショッピングセンターで作品展を開催予定。

○毎月施設内での研修を行っている。動画も利用して、職員全員に情報を共有している。

【意見交換】

○介護人材が不足していると聞く。

(行政) 介護お助け隊について。事業を始めて3年。施設側からは、専門業務以外をお願いしたいということで、掃除や食事の配膳などをやってもらっている。